

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公表番号】特表2001-523240(P2001-523240A)

【公表日】平成13年11月20日(2001.11.20)

【出願番号】特願平10-545041

【国際特許分類第7版】

C 0 7 D 217/22

A 6 1 K 31/4355

A 6 1 K 31/4436

A 6 1 K 31/444

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 31/472

A 6 1 K 31/5355

A 6 1 P 7/02

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 405/14

C 0 7 D 413/14

C 0 7 D 491/048

C 0 7 D 495/04

C 0 7 K 5/06

【F I】

C 0 7 D 217/22

A 6 1 K 31/4355

A 6 1 K 31/4436

A 6 1 K 31/444

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 31/472

A 6 1 K 31/5355

A 6 1 P 7/02

C 0 7 D 401/12

C 0 7 D 405/14

C 0 7 D 413/14

C 0 7 D 491/048

C 0 7 D 495/04 105 A

C 0 7 K 5/06

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月20日(2005.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年4月20日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示 平成10年特許願第545041号



2. 補正をする者

名 称 アクゾ・ノベル・エヌ・ベー



3. 代 理 人 東京都新宿区新宿1丁目1番11号 友泉新宿御苑ビル

(郵便番号 160-0022) 電話 (03)3354-8623

(6200) 弁理士 川 口 義 雄

4. 補正命令の日付 自 発

5. 補正により増加する請求項の数 なし

6. 補正対象書類名 請求の範囲

7. 補正対象項目名 請求の範囲

8. 補正の内容

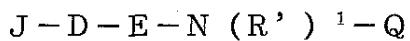
(1) 請求の範囲を別紙の通り補正する。



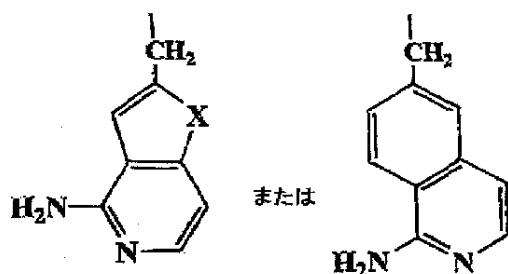
[別紙]

請求の範囲

1. 下記式：



〔式中Qは



(XはOまたはSである)であり、

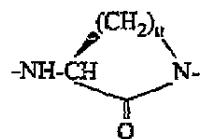
 $(R')^1$ はHまたは(1-4C)アルキルであり、JはH、 $(R')^2$ 、 $(R')^2-O-C(O)-$ 、 $(R')^2-C(O)-$ 、 $(R')^2-SO_2-$ 、 $(R')^2OOC-(CH_2)_p-$ 、 $(R')^3_2NCO-(CH_2)_p-$ であり(ここで $(R')^2$ はH、(1-6C)アルキル、(3-7C)シクロアルキル、(6-14C)アリールまたは(7-15C)アラルキルである)、 $(R')^3$ は $(R')^2$ と同義であるか、または2つの $(R')^3$ がそれらに結合しているNと共にOおよびSから選択されるヘテロ原子を更に含んでいてもよい飽和4、5または6員環を形成し、

pは1、2または3であり、

Dは結合、式-N((1-6C)アルキル)-CH₂-CO-もしくは-N(ベンジル)-CH₂-CO-のアミノ酸、D-1-Tiq、D-3-Tiq、D-Atc、Aic、D-1-Piq、D-3-Piqまたは疎水性、塩基性もしくは中性側鎖を有するLもしくはD-アミノ酸であり、ここでアミノ酸はN-(1-6C)アルキルで置換されていてもよく、

Eは疎水性側鎖を有するL-アミノ酸またはN、OもしくはSから選択されるへ

テロ原子をさらに含んでいてもよい環状アミノ酸であるか、E—N(R')¹が一緒になって下記式



(式中 u は 1、2 または 3 である)

のフラグメントを形成する] の化合物または医薬上許容されるその塩。

2. 請求項 1 に記載の化合物および医薬上適当な補助剤を含む抗血栓効果を有する医薬組成物。

3. 血栓症または血栓症関連疾患の治療または予防のための医薬の製造において使用するための請求項 1 に記載の化合物。